

平成28年4月の鉱工業活動
図表集

平成28年6月14日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年4月の鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.2	96.0	113.4	115.7
前月比	0.5%	1.6%	▲1.7%	▲2.2%
指数水準	H28.1 98.3以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H28.1 96.8以来 I H20.1, 2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H28.2 112.2以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.2 114.5以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月連続+ (H28.3~当月)	2か月連続+ (H28.3~当月)	2か月ぶり▲ (H28.2以来)	2か月ぶり▲ (H28.2以来)
前月比幅	H28.3 3.8%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H28.3 1.8%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H24.5 ▲1.7%以来 (超)H23.12 ▲1.8%以来 ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H26.12 ▲2.9%以来 ①H23.6 ▲11.7% ②H21.6 ▲6.7% ③H21.3 ▲6.0%
前年同月比(原指数)	▲3.3%	▲3.4%	0.1%	1.8%
前年同月比の動き	2か月ぶり▲ (H28.2以来)	5か月連続▲ (H27.12~当月)	2か月連続+ (H28.3~当月)	5か月連続+ (H27.12~当月)
前年同月比幅	H28.1 ▲4.2%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H28.1 ▲5.4%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H28.3 1.8%以来 I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H28.3 3.8%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

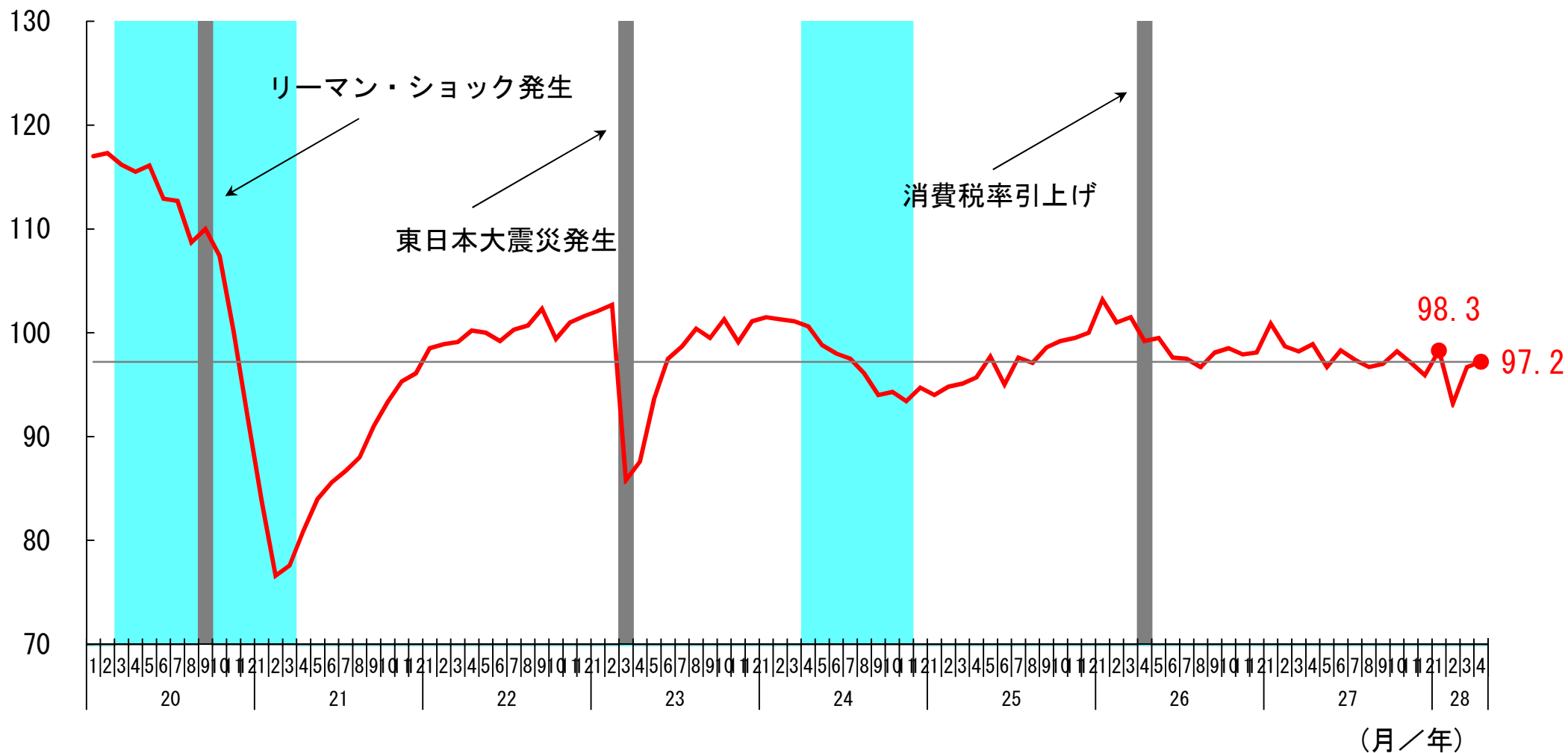
1) ▲はマイナス

2) I~IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- ・平成28年4月の鉱工業生産指数は97.2(前月比0.5%)と2か月連続の上昇。
- ・平成28年1月の98.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

平成28年4月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	食料品・たばこ工業	5.9%	72.4%
	品目	清涼飲料	12.8%	47.6%
		酒類	9.0%	26.2%
	2位の業種	化学工業	2.1%	51.1%
	品目	化粧品	8.2%	46.2%
		有機薬品	4.8%	10.6%
3位の業種	電気機械工業	3.2%	41.4%	
品目	電気計測器	12.6%	12.7%	
	民生用電気機械	2.4%	6.6%	
鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	金属製品工業	▲ 6.0%	▲ 50.2%
	品目	建設用金属製品	▲ 25.7%	▲ 53.2%
		暖ちゅう房熱機器	▲ 4.1%	▲ 5.0%
	2位の業種	輸送機械工業	▲ 0.3%	▲ 11.5%
	品目	乗用車	▲ 2.3%	▲ 33.6%
トラック		▲ 7.3%	▲ 20.7%	
3位の業種	情報通信機械工業	▲ 2.2%	▲ 10.9%	
品目	電子計算機	▲ 14.8%	▲ 32.4%	
	民生用電子機械	▲ 0.7%	▲ 1.0%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

平成28年4月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	清涼飲料	12.8%	47.6%
	2位	化粧品	8.2%	46.2%
	3位	化学機械	330.6%	35.4%
鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	▲ 23.6%	▲ 102.3%
	2位	建設用金属製品	▲ 25.7%	▲ 53.2%
	3位	乗用車	▲ 2.3%	▲ 33.6%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	4.4%	120.6%
		コーヒー・茶系飲料	14.1%	44.4%
		美容液	27.8%	22.6%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	1.5%	44.6%
		反応用機器	5,770.7%	36.0%
		ショベル系掘削機械	12.3%	26.8%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.4%	40.4%
		駆動伝導・操縦装置部品	11.6%	49.0%
		航空機用機体部品（プロペラ・回転翼を含む）	25.2%	33.3%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 2.3%	▲ 47.8%
		普通乗用車	▲ 3.7%	▲ 35.0%
		軽乗用車	▲ 9.9%	▲ 12.9%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 4.6%	▲ 53.0%
		橋りょう	▲ 39.4%	▲ 49.9%
		プラスチック製パイプ	▲ 14.2%	▲ 3.5%

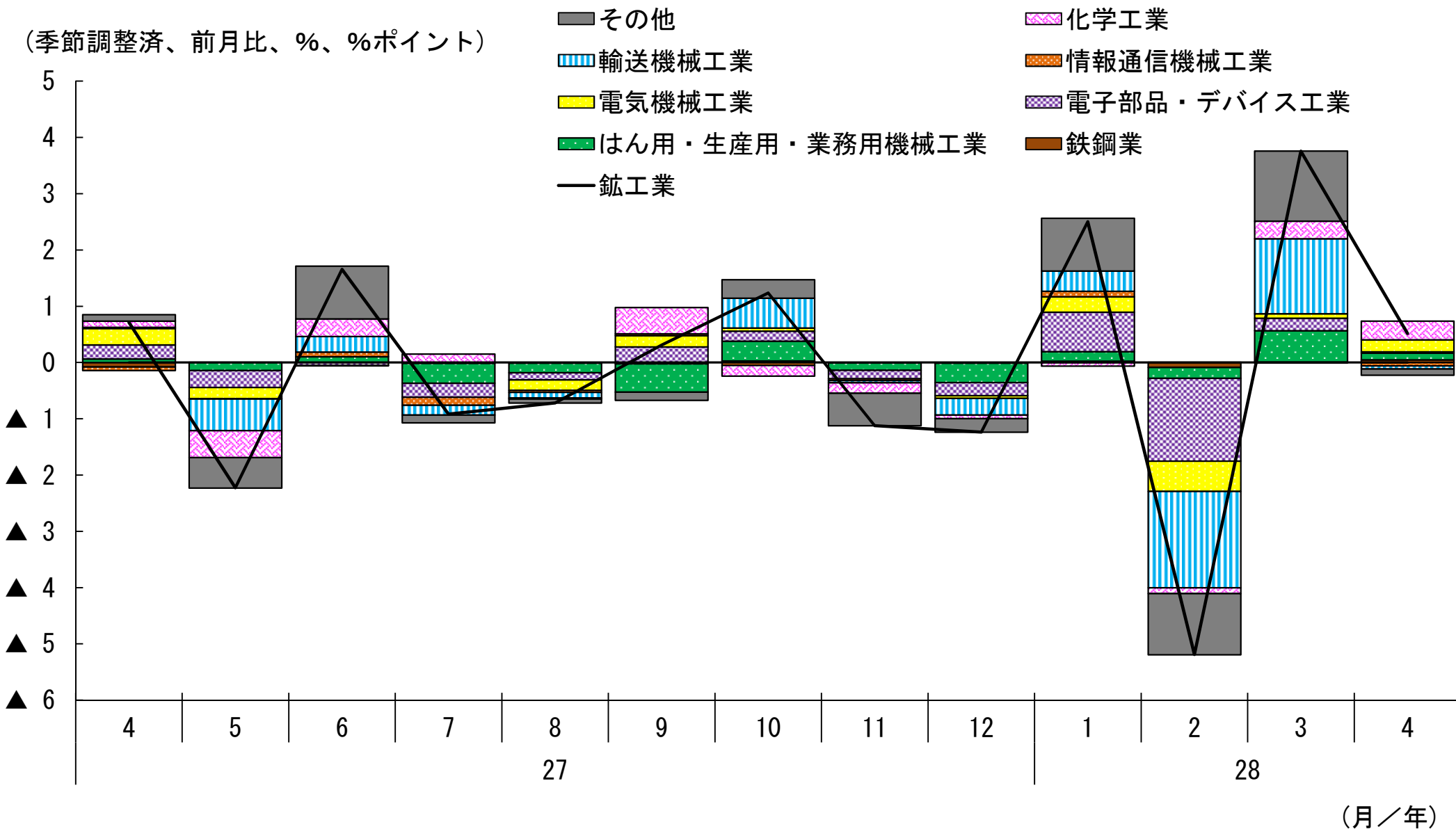
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋁工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年4月の生産指数は輸送機械工業などが低下したものの、化学工業などが上昇したため、前月比0.5%の上昇。

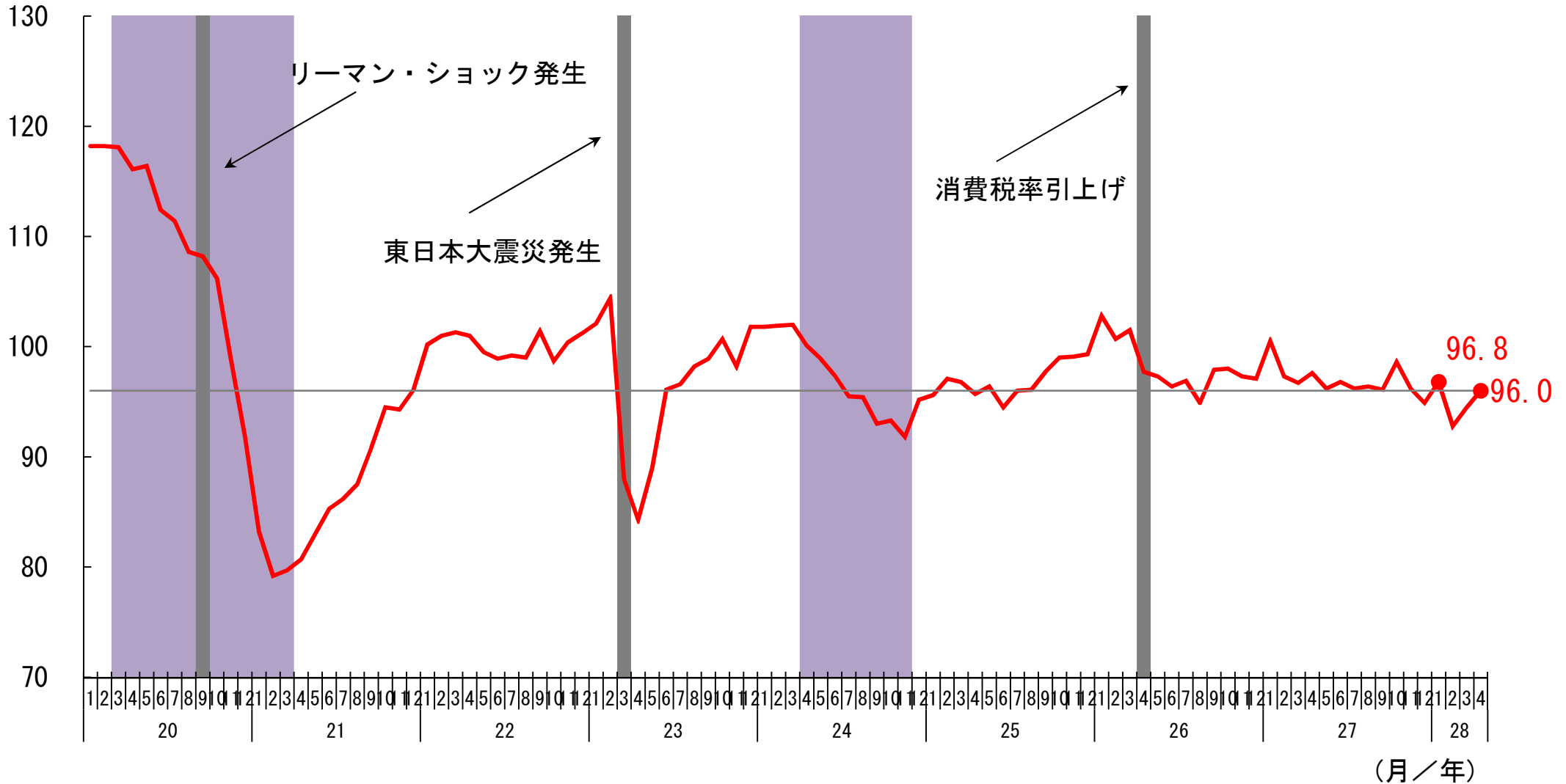
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鉱工業出荷指数の動向

- ・平成28年4月の鉱工業出荷指数は96.0(前月比1.6%)と2か月連続の上昇。
- ・平成28年1月の96.8以来の指数水準。

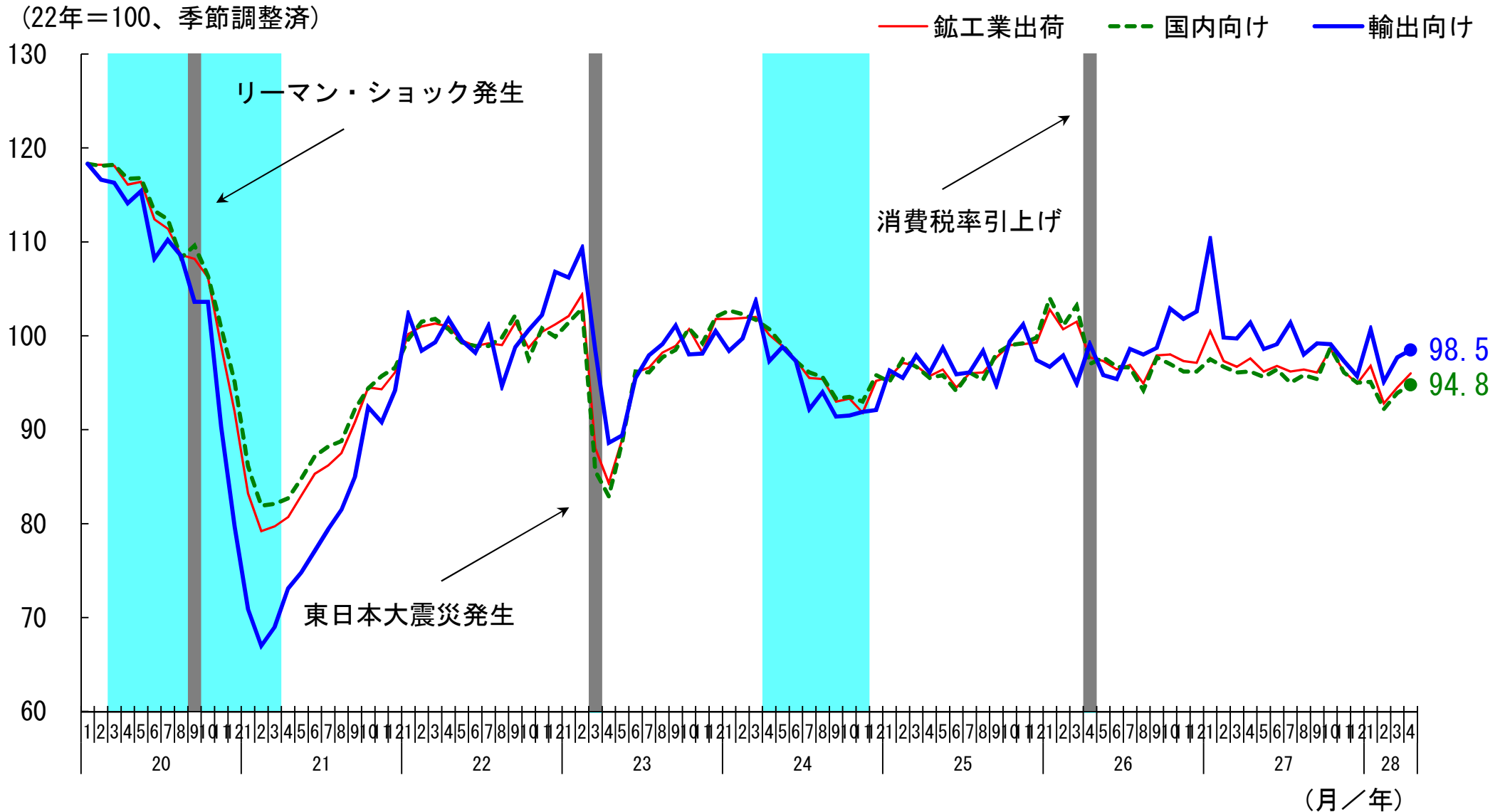
(22年=100、季節調整済)



(注)紫色のシャド一部分は景気後退局面。

国内向け／輸出向け出荷の動向

・平成28年4月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは94.8(前月比1.0%)と2か月連続の上昇、輸出向けは98.5(前月比1.0%)と2か月連続の上昇。

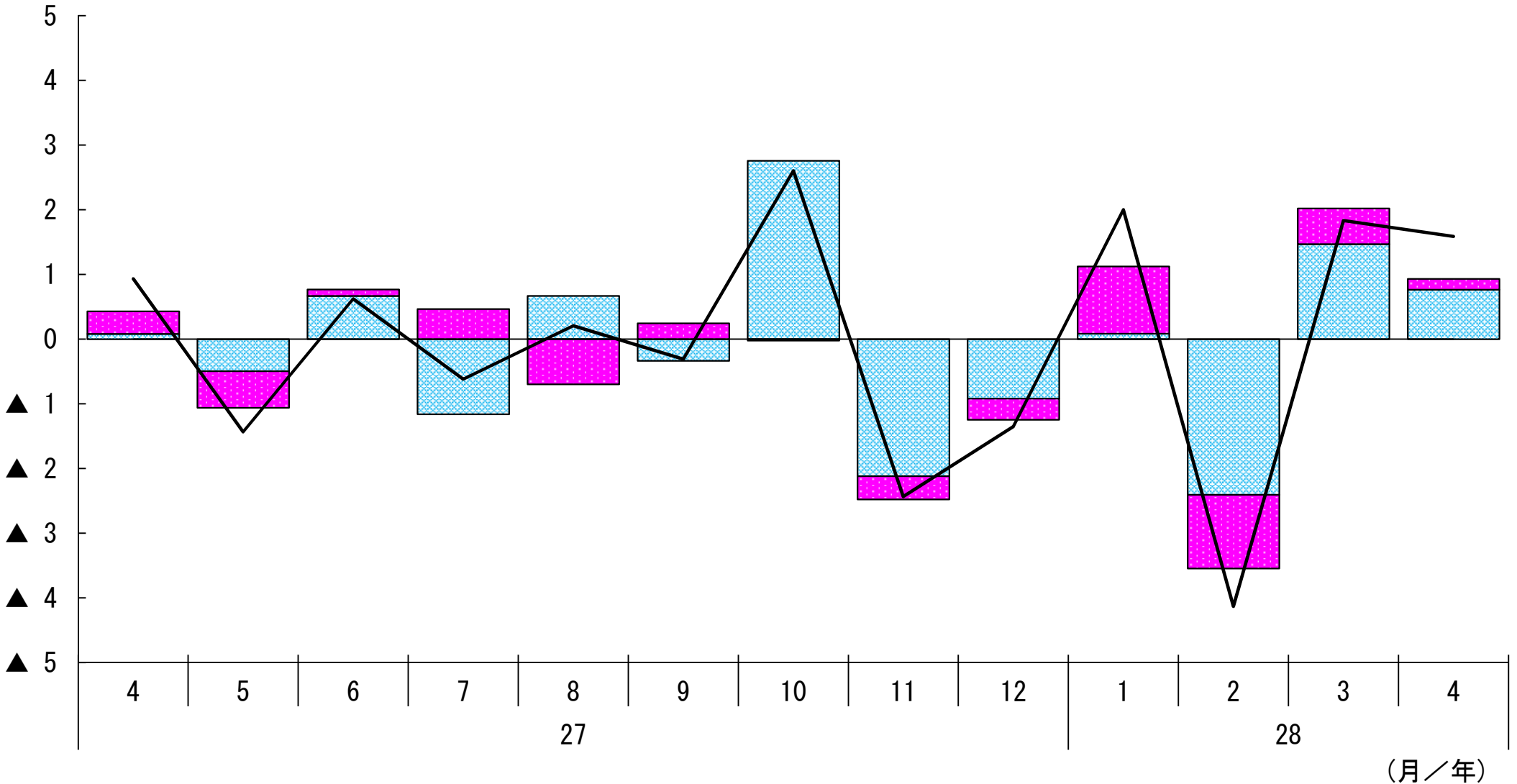


鋳工業出荷への国内向け／輸出向け別寄与度分解

- 平成28年4月の鋳工業出荷は国内向け、輸出向けともに上昇したため、前月比1.6%の上昇。

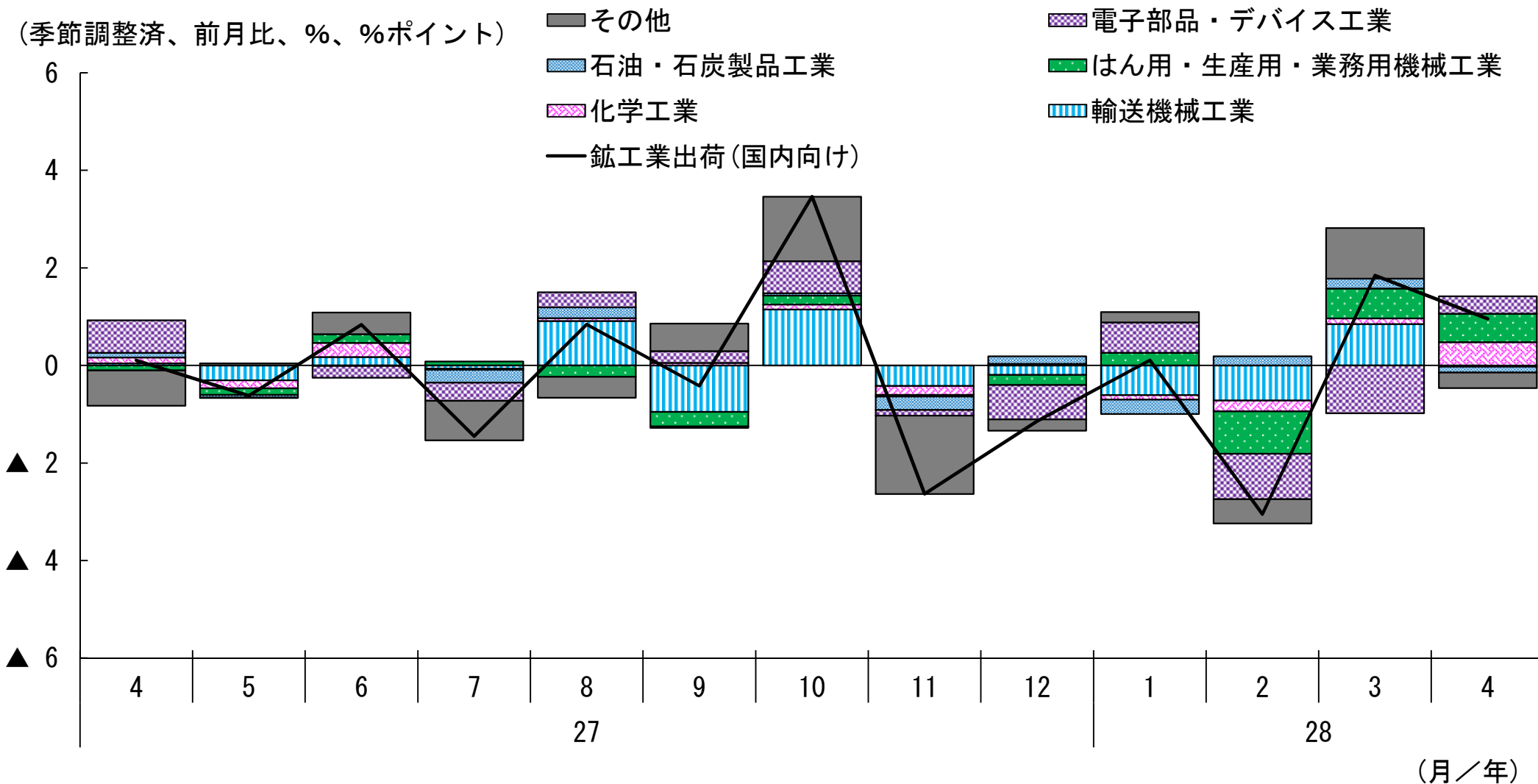
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 輸出向け ■ 国内向け — 鋳工業出荷



国内向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年4月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、石油・石炭製品工業などが低下したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇。

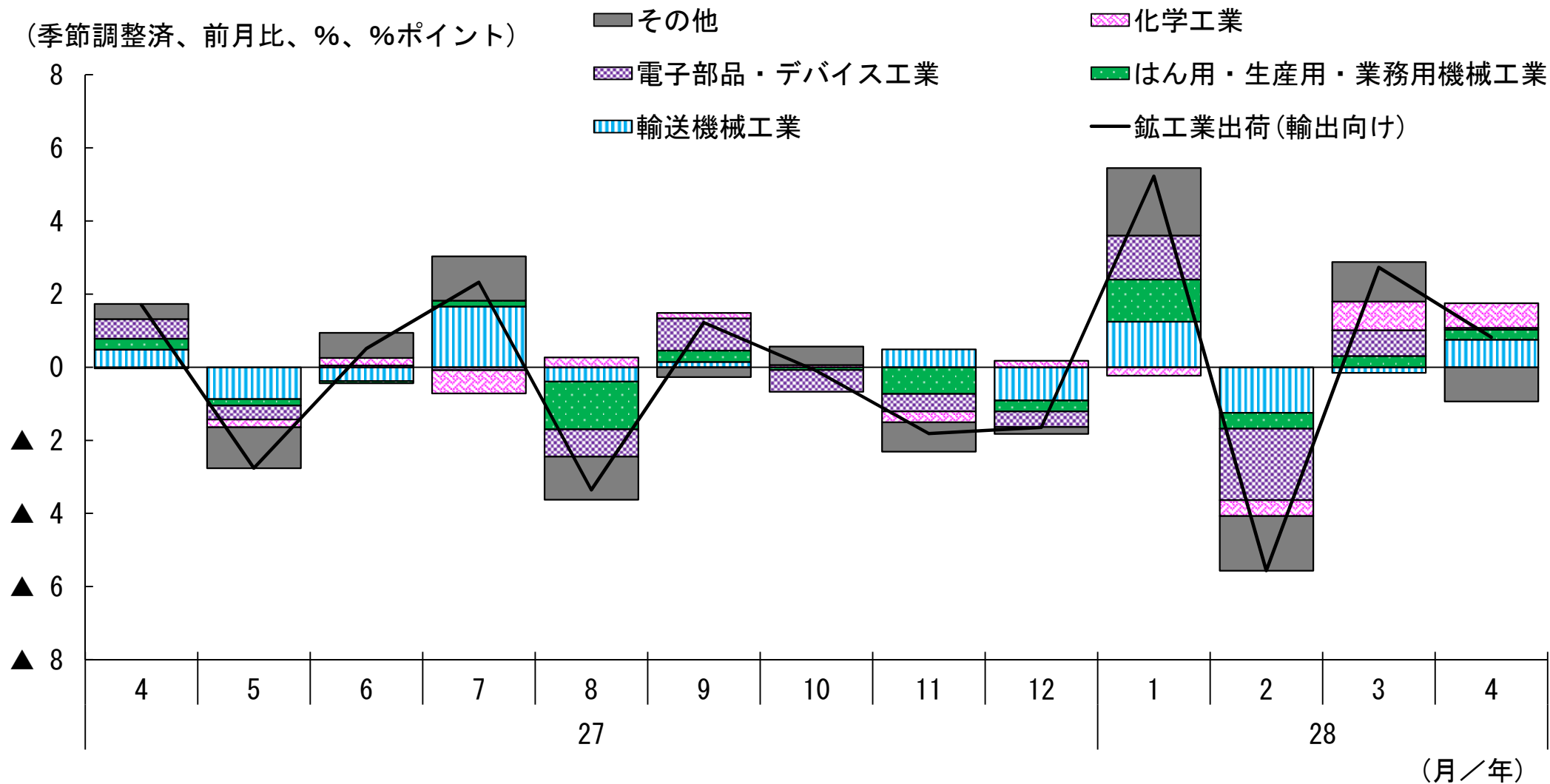


(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年4月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

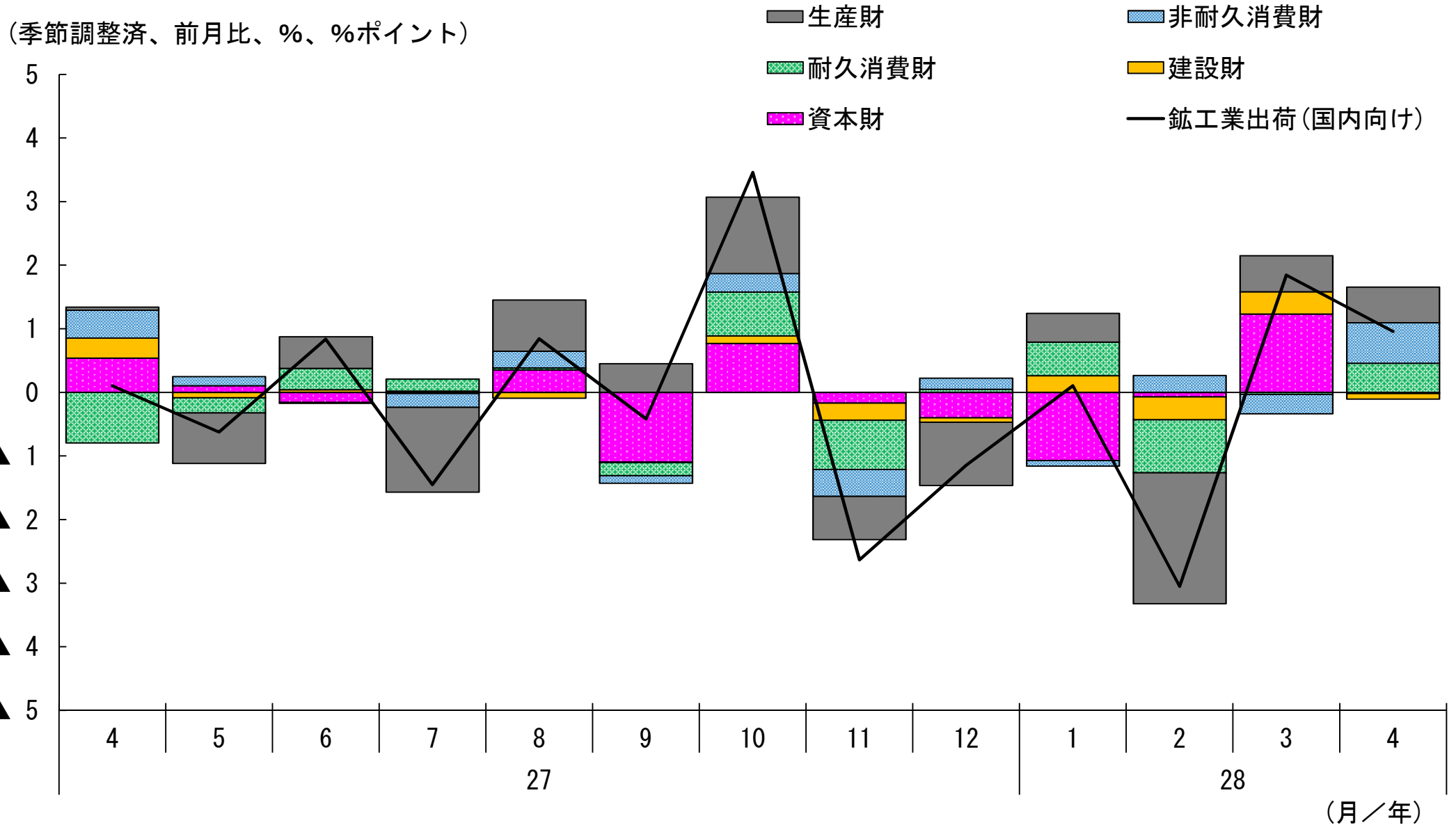


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

国内向け出荷への財別寄与度分解

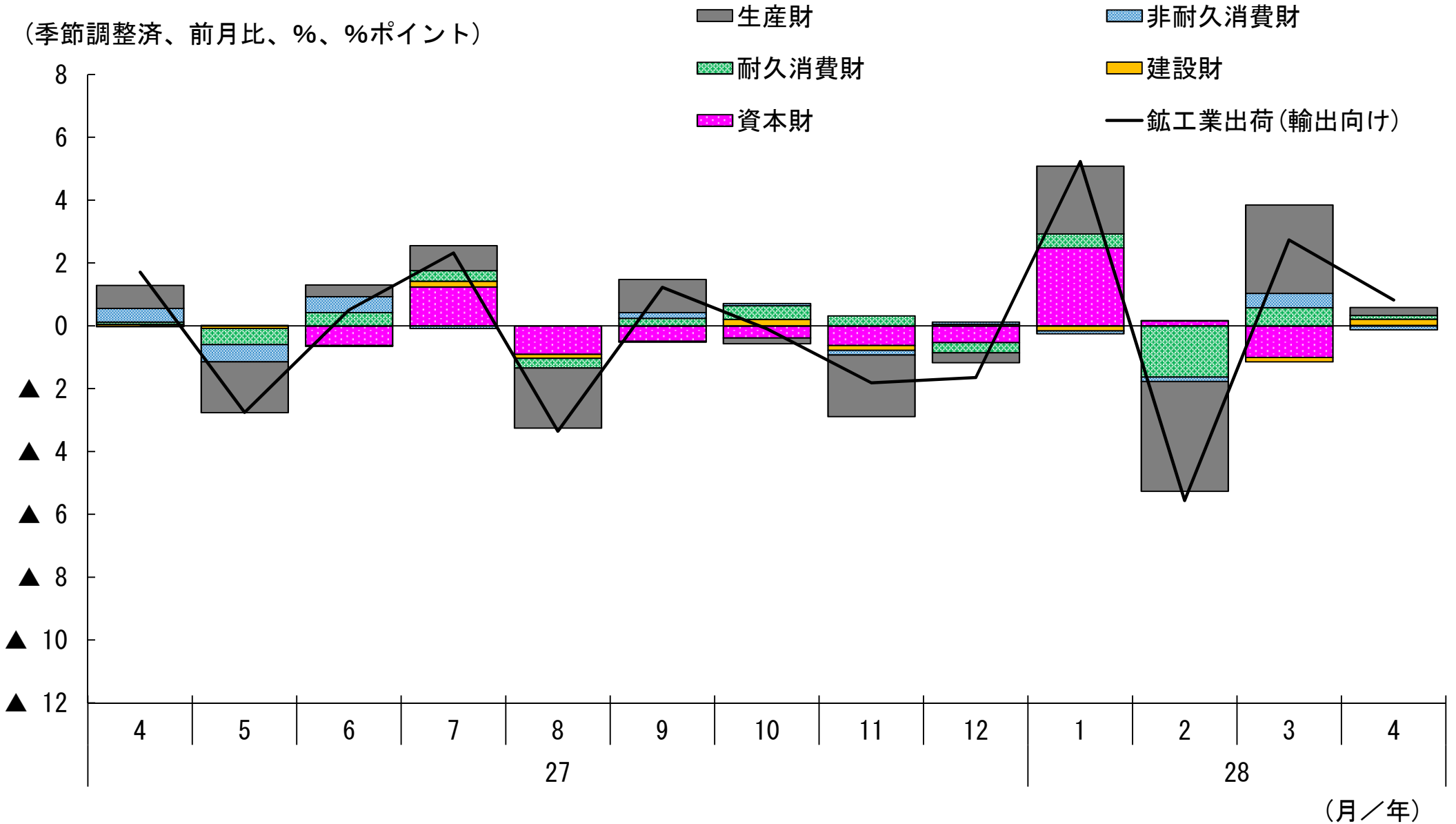
- 平成28年4月の国内向け出荷を、財別にみると、建設財などが低下したものの、非耐久消費財などが上昇。



輸出向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年4月の輸出向け出荷を、財別にみると、非耐久消費財が低下したものの、生産財などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



平成28年4月の国内向け出荷への財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	1.0	48.2
鉱工業用生産財	1.8	38.4
電子部品・デバイス工業	6.0	18.4
輸送機械工業	3.5	11.6
非耐久消費財	4.5	32.1
化学工業	9.6	21.5
食料品・たばこ工業	5.9	17.7
耐久消費財	3.6	22.9
輸送機械工業	7.7	34.4
情報通信機械工業	5.3	3.9
資本財	▲ 0.1	▲ 0.9
輸送機械工業	▲ 10.9	▲ 29.8
情報通信機械工業	▲ 14.8	▲ 8.0
建設財	▲ 1.3	▲ 4.4
金属製品工業	▲ 5.1	▲ 7.7
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 12.2	▲ 0.9
その他用生産財	▲ 1.9	▲ 5.4
石油・石炭製品工業	▲ 3.9	▲ 6.6
鉱業	▲ 10.4	▲ 0.5

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

平成28年4月の輸出向け出荷への財別・業種別の変動寄与

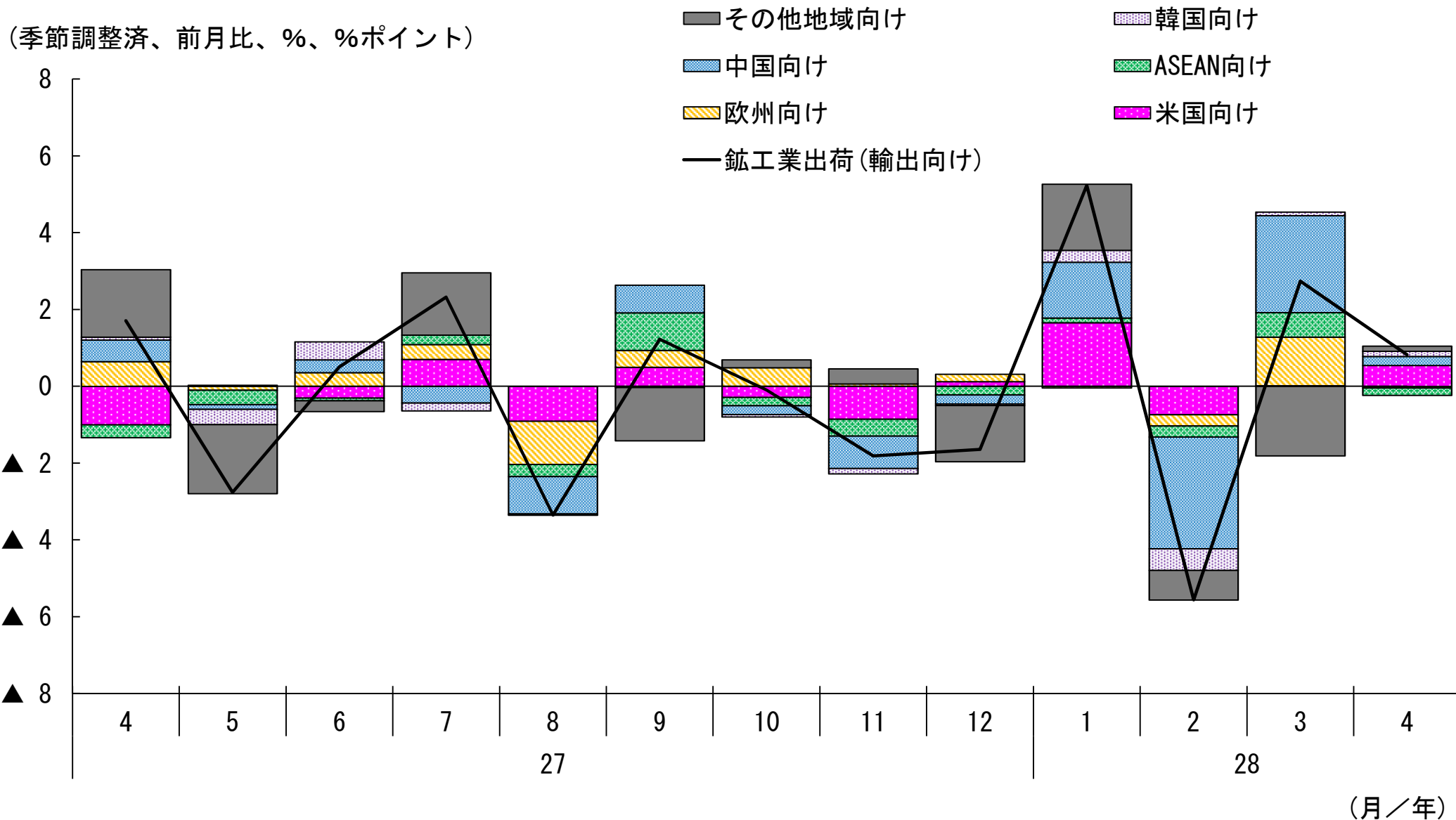
財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	0.8	10.5
鉱工業用生産財	1.0	7.5
化学工業	13.3	12.8
輸送機械工業	4.7	6.6
建設財	11.2	2.5
鉄鋼業	30.9	1.2
プラスチック製品工業	6.5	0.4
耐久消費財	0.9	1.6
輸送機械工業	4.0	5.4
電気機械工業	14.2	0.3
資本財	0.1	0.3
はん用・生産用・業務用機械工業	2.1	2.8
電気機械工業	6.0	1.8
非耐久消費財	▲ 3.4	▲ 1.5
化学工業	▲ 11.6	▲ 2.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 11.5	▲ 0.1
その他用生産財	▲ 4.7	▲ 2.1
石油・石炭製品工業	▲ 11.4	▲ 2.7
化学工業	▲ 12.9	▲ 0.8

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

輸出向け出荷への地域別寄与度分解

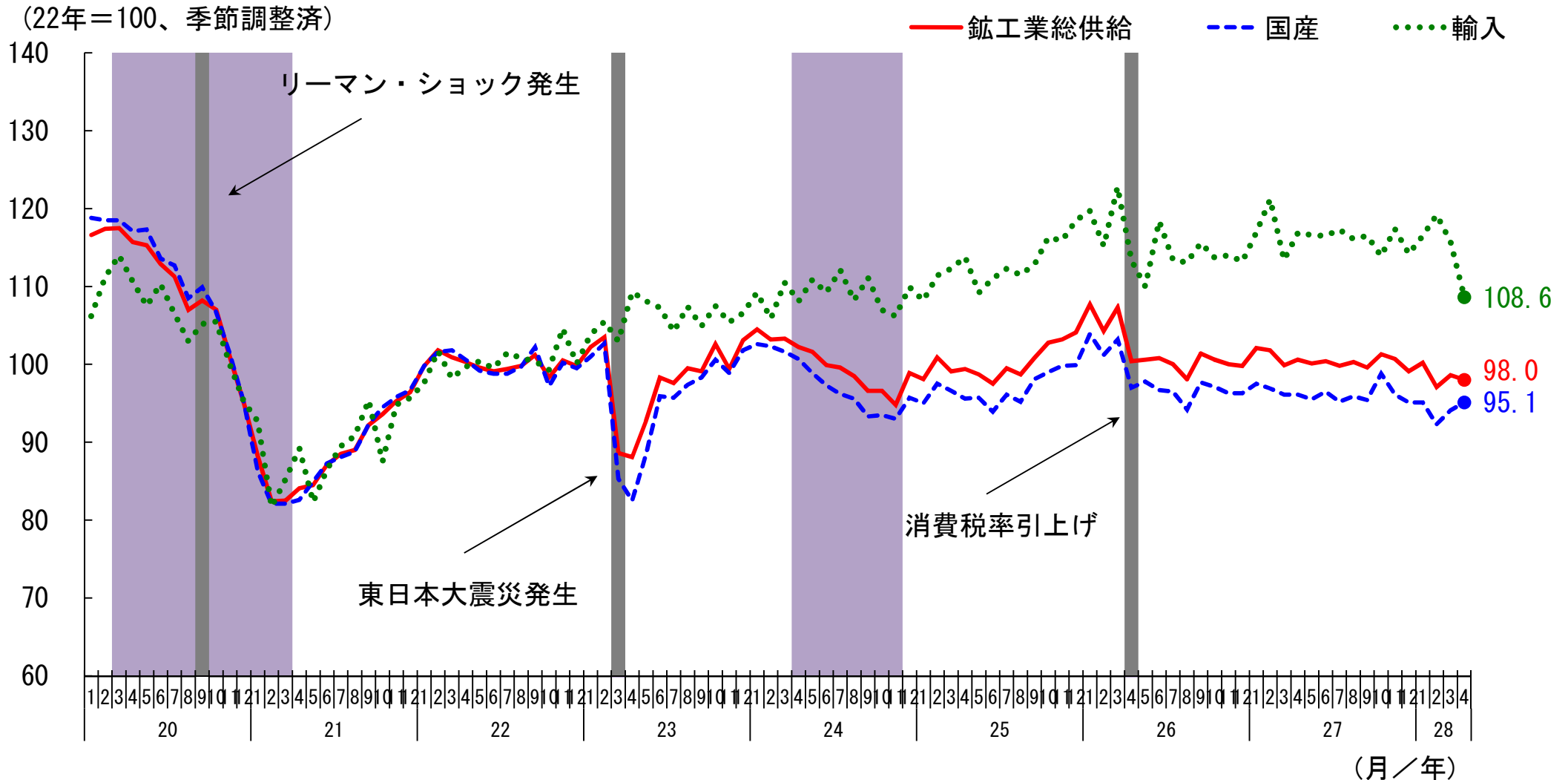
- 平成28年4月の輸出向け出荷を、財別にみると、ASEAN向けなどが低下したものの、米国向けなどが上昇。



(注) 試算値。

鉍工業総供給指数の動向

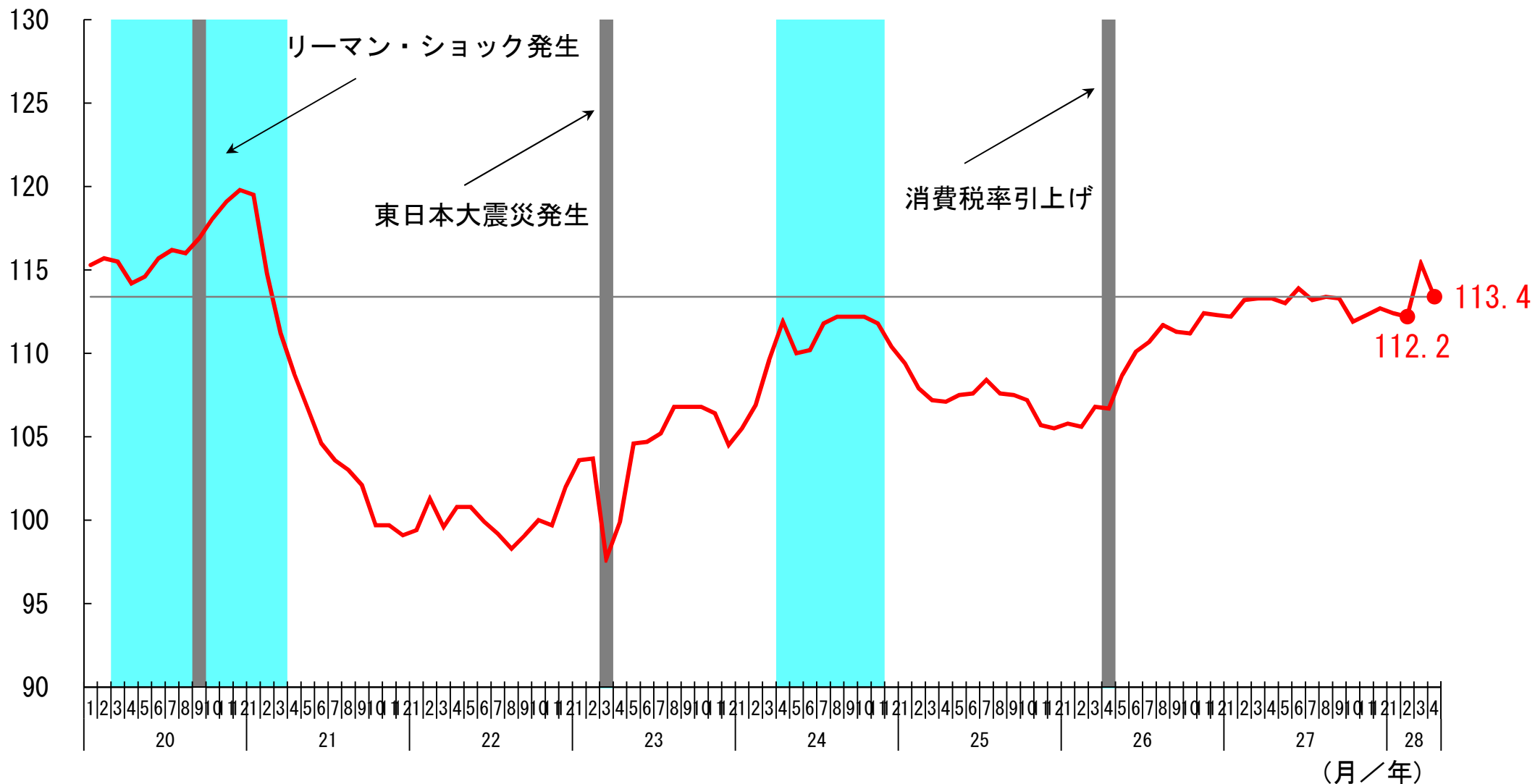
- ・平成28年4月の鉍工業総供給指数は98.0(前月比▲0.6%)と2か月ぶりの低下。
- ・内訳をみると、国産は95.1(前月比1.1%)と2か月連続の上昇、輸入は108.6(前月比▲6.2%)と2か月連続の低下。



鉱工業在庫指数の動向

- ・平成28年4月の在庫指数は113.4(前月比▲1.7%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成28年2月の112.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャド一部分は景気後退局面。

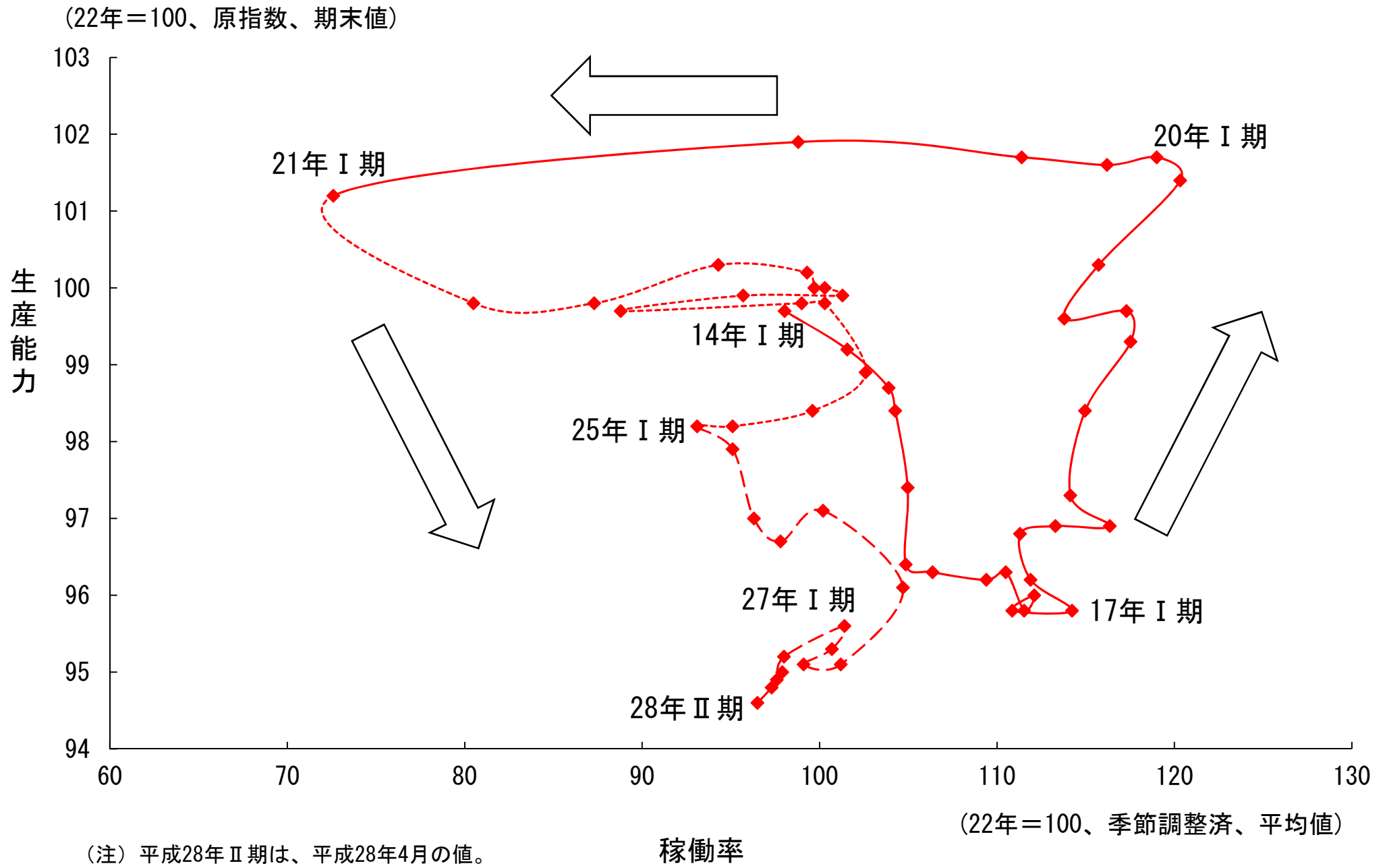
平成28年4月の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率		能 力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	96.5	94.8	99.0	94.6 (原指数)	95.7 (原指数)	93.0 (原指数)
前月比	▲ 1.0%	▲ 2.3%	0.3%	▲ 0.2%	▲ 0.1%	▲ 0.4%
指数水準	H28.2 94.5以来 ①H21.2 69.3 ②H21.3 70.3 ③H21.4 77.2	H28.2 93.0以来 ①H21.2 63.9 ②H21.3 66.4 ③H23.4 69.7	H27.10 99.0以来 (超)H27.9 99.2以来 I H20.1 110.8 II H20.2 110.7 III H20.3 110.4	22年基準最低水準 ①H28.4 94.6 ②H28.1,3 94.8 ③H27.8,9,H28.2 94.9	H28.1 95.7以来 (超)H27.8 95.6以来 ①H26.7 94.8 ②H26.8 94.9 ③H26.9 95.0	22年基準最低水準 ①H28.4 93.0 ②H28.3 93.4 ③H28.2 93.5
前月比の動き	2か月ぶり▲ (H28.2以来)	2か月ぶり▲ (H28.2以来)	2か月連続+ (H28.3～当月)	2か月連続▲ (H28.3～当月)	3か月ぶり▲ (H28.1以来)	4か月連続▲ (H28.1～当月)
前月比幅	H28.2 ▲5.4%以来 ①H23.3 ▲21.7% ②H21.1 ▲12.0% ③H21.2 ▲11.3%	H28.2 ▲7.3%以来 ①H23.3 ▲28.6% ②H21.1 ▲15.0% ③H21.2 ▲14.8%	H28.3 2.3%以来 I H21.4 8.2% II H23.5 4.1% III H21.5 3.2%	H28.1 ▲0.2%以来 (超)H27.8 ▲0.3%以来 ①H21.4 ▲1.2% ②H26.1 ▲1.1% ③H24.1,H26.4 ▲0.9%	H28.1 ▲0.2%以来 ①H21.4 ▲1.9% ②H24.1,H26.1 ▲1.6% ③H25.4 ▲1.3%	H26.4 ▲1.0%以来 ①H26.4 ▲1.0% ②H21.10,H22.1,7,H23.1, H24.4,H28.4 ▲0.4%
前年同月比(原指数)	▲ 4.3%	▲ 7.5%	0.3%	▲ 0.8%	▲ 0.4%	▲ 1.5%
前年同月比の動き	5か月連続▲ (H27.12～当月)	16か月連続▲ (H27.1～当月)	2か月ぶり+ (H28.2以来)	9か月連続▲ (H27.8～当月)	4か月連続▲ (H28.1～当月)	91か月連続▲ (H20.10～当月)
前年同月比幅	H28.1 ▲5.3%以来 ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	H28.1 ▲8.0%以来 ①H21.2 ▲50.8% ②H21.3 ▲46.1% ③H21.1 ▲40.7%	H28.2 1.4%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.7% III H22.1 20.1%	H28.3 ▲0.8%以来 (超)H26.12 ▲1.9%以来 ①H21.7,8,H26.11 ▲2.1% ②H26.1,2,4,6,10 ▲2.0% ③H21.9,H26.12 ▲1.9%	H28.3 ▲0.4%以来 (超)H26.12 ▲1.9%以来 ①H21.8 ▲2.7% ②H21.7,H25.7,H26.1,2 ▲2.6%	H27.8 ▲1.5%以来 (超)H27.3 ▲1.6%以来 ①H22.12,H23.1 ▲2.1% ②H22.9,11,H23.2,5,6, H26.4 ▲2.0%

1) ▲はマイナス

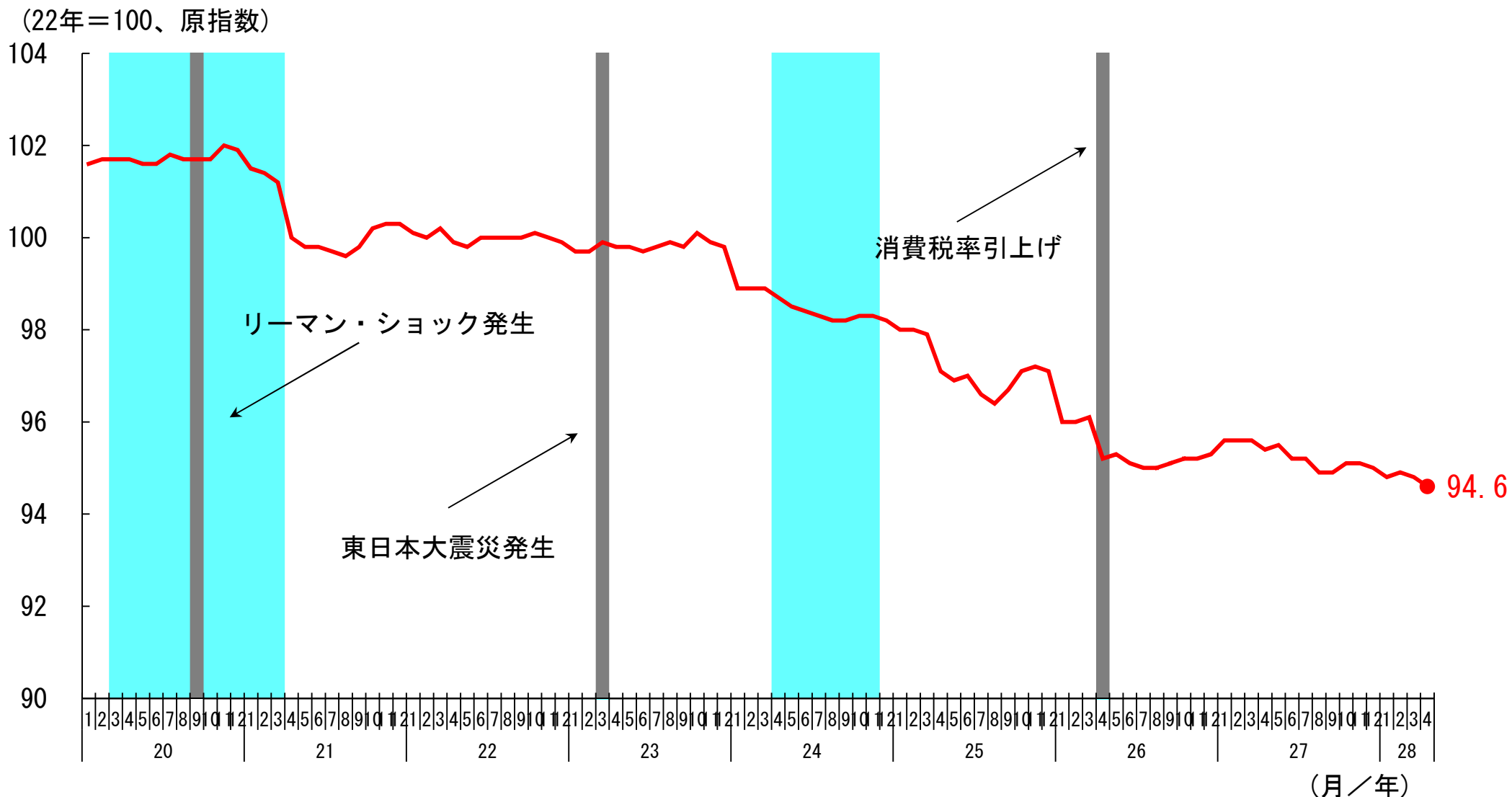
2) I～IIIは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

稼働率と生産能力の循環図(製造工業)



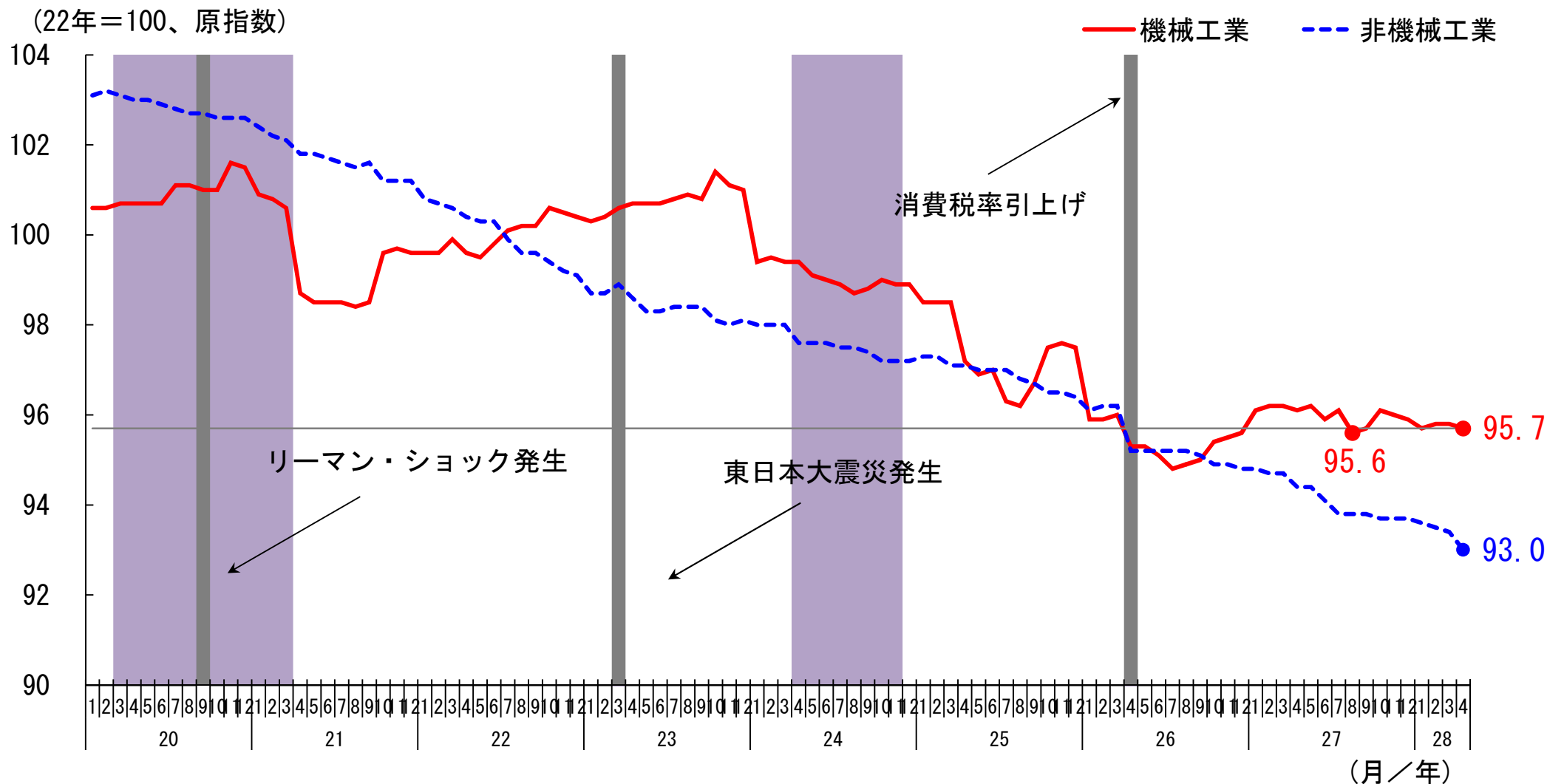
製造工業生産能力指数の動向

- ・平成28年4月の製造工業生産能力指数は94.6(前月比▲0.2%)と2か月連続の低下。



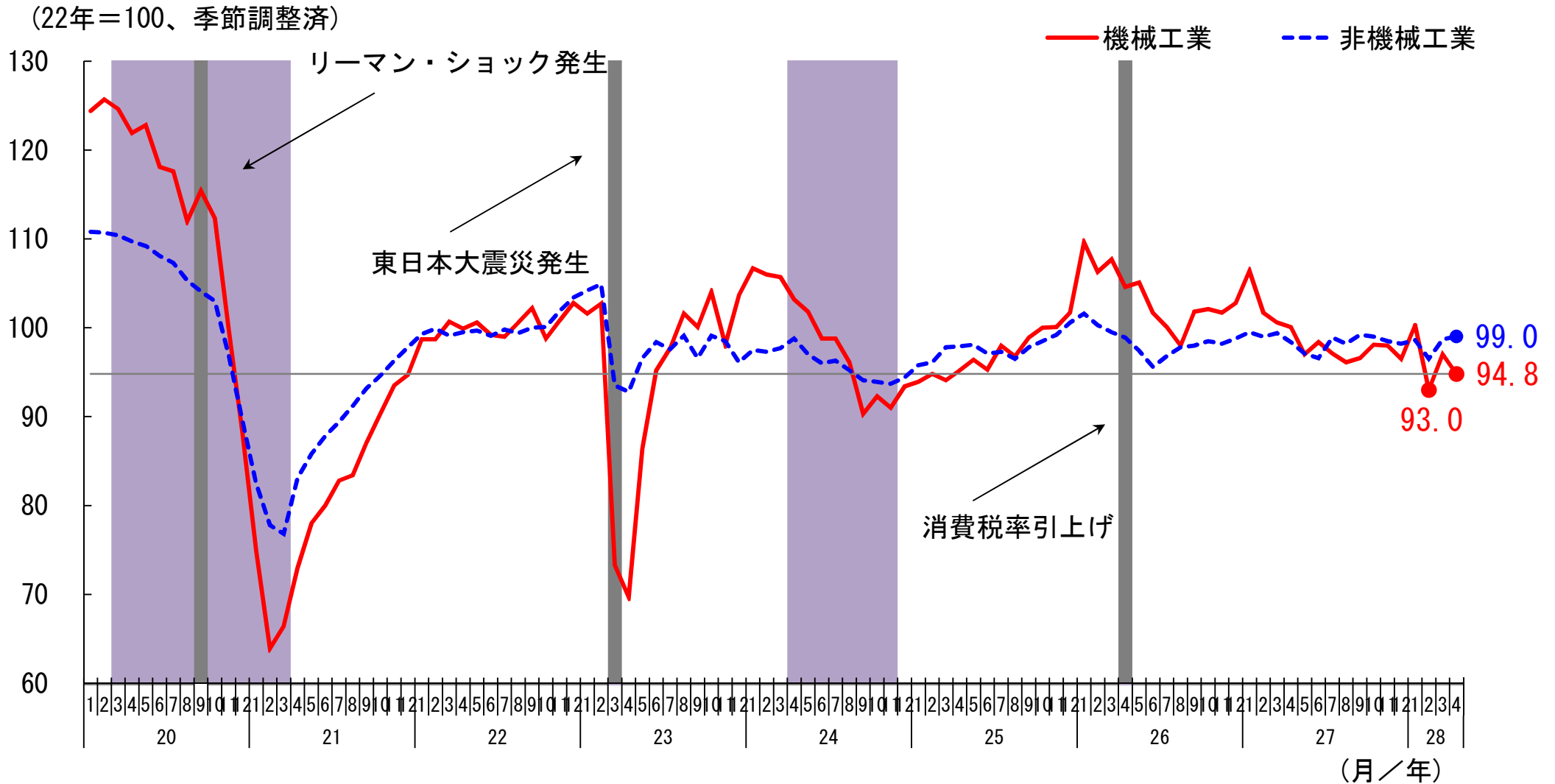
機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成28年4月の機械工業の生産能力指数は95.7(前月比▲0.1%)と3か月ぶりの低下。平成27年8月の95.6以来の指数水準。
- 非機械工業の生産能力指数は93.0(前月比▲0.4%)と4か月連続の低下。



機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

- 平成28年4月の機械工業の稼働率指数は94.8(前月比▲2.3%)と2か月ぶりの低下。平成28年2月の93.0以来の指数水準。
- 非機械工業の稼働率指数は99.0(前月比0.3%)と2か月連続の上昇。



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成28年4月の製造工業稼働率指数は、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したものの、
輸送機械工業などが低下したため、前月比▲1.0%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

